



彩の技術士

公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部

The Institution of Professional Engineers, Japan

こうほう・Vol.20.2022.10.1.

〒333-0844 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1-706B
埼玉県支部事務局
Tel.: 048-263-0840, Fax: 048-263-0841
<http://www.engineer.or.jp/shibu/saitama/index.html>

目次

巻頭言	日本技術士会総務委員会委員長	永野 澄
支部長挨拶	日本技術士会埼玉県支部支部長	若林 直樹
埼玉県支部創立10周年記念事業報告	支部長	若林 直樹
委員会活動紹介		
総務企画委員会	委員長	白岩 信裕
CPD委員会	委員長	増古 恒夫
科学技術振興委員会	委員長	中田よしみ
地域産業支援委員会	委員長	近藤 孝
地域活性化委員会	委員長	若林 直樹
会長表彰受賞者紹介	穴戸 富雄 菅原 宏 村山 肇	
年次大会・技術士試験合格者祝賀会報告	CPD委員会	白岩 信裕
技術士試験合格者(会員)紹介	伊藤 博英 小熊 広之 金内 良夫	
	酒井 倫恵 佐久間 幹 長谷川 肇 福田 翔 藤田 博史	

巻頭言 総務委員会の役割

公益社団法人日本技術士会 理事・総務委員会委員長 永野 澄

定款には、「本会は、全国の技術士の品位の保持、資質の向上及び業務の進歩改善を図るため、技術士の研修並びに会員の指導及び連絡に関する事務等の業務を全国的に行い、もって科学技術の向上及び国民経済の発展並びに国際交流の推進に寄与し、更には広く社会に貢献することを目的とする。」とあり、10項目の事業が記載されています。

総務委員会の役割は、「常設委員会の所掌事項」に「本会の秩序・信用の維持、運営管理、及び会員の顕彰に関する事項」とあり、9項目の主要業務の中に「定款等諸規程の管理(制定、改廃)」、「地域組織、委員会及び部会の運営に関わる事項の企画、立案」、「その他、他の常設委員会の所掌にない事項」があります。

本会では、本年3月に組織改革委員会によって新たに「公益社団法人日本技術士会の組織行動規範」が制定され、「経営理念」と「行動規範」によって、日本技術士会の公益法人としての社会的使命を経営理念として明確化し、それを実現するための役員、会員と職員の具体的な行動規範を日本技術士会組織行動規範として策定したうえで、個別の規則や制度の制定・改訂に繋げていき、役員、会員と職員で共有し、健全な組織活動を推進することとされました。

また組織改革委員会の中に、ガバナンス適正化小委員会と組織改革小委員会が設置され、(1) 現行の事務局組織規程の改訂と事務取扱基準、(2) 日本技術士会役職員の倫理規定、(3) 統括本部の機能の明確化と統括本部に関する規定、(4) 新規地域本部の設立を含め地域組織の再構築、(5) 役員候補者選出選挙制度、などに関する検討を行い、総務委員会はこの具体化の実務を担うこととなります。



永野 澄 委員長

総務委員会活動を行うにあたり、以下が重要と考えています。(1)モチベーション(役員、会員、職員が目的意識をもって生き生きと活躍できる組織とする)、(2)透明性(全ての会員、職員が必要な情報にアクセスできる)、(3)コラボレーション(共同作業: 会員、職員、その他関係者の積極参画)、(4)スピード(改革・改善等のスピード)、(5)効率(全てにおいて効率の良い内容とする)、(6)ガバナンス

会員の皆様の、積極的な提案や活動・行動をお願い致します。

支部長挨拶

日本技術士会 埼玉県支部支部長 若林 直樹

新型コロナウイルス感染症拡大は、第7波がピークアウトしたようですが、2年半以上の長期にわたり、また、本年2月に勃発したウクライナ戦争は、泥沼化しています。それらにより、我が国経済に、物価高騰等の多大な影響を及ぼしています。

そのような状況下、この間の当支部の活動は、創立10周年記念事業等、順調に実施することができました。とくに、技術士資質向上のための自己研さんを目的としたCPD講習会・見学会は、より一層の内容の充実が図られたと考えています。また、将来の科学技術を担う人材育成を目的とした理科実験教室や、大学・大学院生や一般の方々を対象とした技術士制度説明会を実施しました。これらは、可能な限り対面方式で行い、その際、新型コロナウイルス感染予防対策には十分注力しました。

さて、今後の理系人材育成に関しては、政府は、現在の理系学生の割合35%を、50%を目標とすると宣言しており、これに関して我々技術士は、その取り組みの一端を担う必要があると考えます。とくに、ここ50年間で大学入学定員は倍増しているのに対し、理工学の定員割合は逆に24%から17%に減少しています。また、最近の国別自然科学論文数では、わが国

はインドに抜かれ4位から5位に後退し、トップ10%補正論文数は10位から12位へ、トップ1%補正論文数は9位から10位へと順位を落としています。

さらに、大学院博士課程在籍の学生数は、2年連続で減少しており、研究力低下が懸念されます。

我々技術士は、以上のわが国科学技術の現状を認識し、対応していく必要があると考えます。

そのため、支部活動においては、若手技術者が技術士資格を取得することにより、それが科学技術のレベルアップに繋がると考え、その取り組みを推進していきます。また、ダイバーシティへの取り組みとして、女性技術士の増や外国人技術者の技術士資格取得を推進していきます。さらに、理科実験教室を引き続き開催し、内容の充実を図ります。

その他、社会課題解決に向け、活動を強化していきます。とくに、支部のスローガン「技術の力で地域の発展に貢献」のもと、創立10周年という節目を経た今、未来、次の10年に向かって歩み続けますので、ご支援の程、宜しく願いいたします。



若林 直樹 支部長

埼玉県支部創立10周年記念事業報告

日本技術士会 埼玉県支部支部長 若林 直樹

当支部は、2011年11月の設立以来、埼玉県や各自治体、各団体、各企業、そして地域の皆様の温かいご支援により支えられてきました。心から感謝申し上げます。

創立10周年にあたり、本年3月に記念誌を発刊し、5月に記念式典を開催しました。

記念誌発刊に際しては、10年間の活動の集大成として記録を残すということのみならず、ご支援いただいた方々、創立にあたってご尽力くださった先輩技術士や精力的に活動された技術士、また今後の支部活動を担う若手技術士に執筆していただき、創立時から今までの10年間の活動を振り返るとともに、今後の支部活動を見据えた内容とすべく注力しました。記念誌は、67ページで構成され、600部印刷しました。現在、支部ホームページからダウンロード(パスワード必要)できるようになっており、技術士をもっと多くの方々に知っていただくとともに、支部の知名度向上に繋がることを期待しています。

記念式典は、5月28日に浦和で開催しました。ハイブリット方式で行い、来賓・招待者32名の方々に会場にお越しいただき、対面で63名、オンラインで41名の技術士が参加しました。支部長の支部10年の

歩みの報告の後に、関東経済産業局長、埼玉県知事、さいたま市長、埼玉大学学長よりご祝辞をいただきました。この後、記念講演として埼玉県ご出身でノーベル物理学賞を受賞された東京大学梶田隆章教授から「神岡地下での基礎科学研究とそれらを支える技術」というテーマで、お話ししていただきました。実験研究で得られた成果が新たな技術に支えられていることを、非常に分かりやすく説明していただきました。具体的には、ニュートリノ研究でのカミオカンデとスーパーカミオカンデの建設と観測、重力波研究でのKAGRA(かぐら)の建設と運転の報告のなかで示されました。むずかしい内容に対して、たいへん丁寧に話され、我々技術士にとって新しい知見を得ることができたと考えています。記念講演終了後に、近藤副支部長から今後の支部活動に対する抱負等が述べられました。

上記のように、創立10周年記念事業は、無事終わることができました。記念事業挙行にあたっては、11名のメンバーからなる実行会を立ち上げ15回の会合で協議を行いました。メンバーにはそれ以外にも多くの時間と労力を費やしていただきました。これらの方々に深く感謝申し上げます。

総務企画委員会

埼玉県支部総務企画委員会委員長 白岩 信裕

2022 年度上期は昨年度同様、新型コロナウイルスの感染防止の観点で、オンライン会議を状況に応じ適宜採用し、埼玉県支部行事を円滑に行うよう努めました。併せて諸委員会活動、技術士活動の支援を図りました。

1. 2022 年度前半の委員会活動の結果

- 1) 埼玉県支部創立 10 周年記念式典を5月に開催し、その企画や運営に携わりました。多くの方の支援協力、参加をいただき成功裏に終わりました。また昨年度末に発行しました支部創立 10 周年記念誌の関係先への配布を進めました。
- 2) 7 月に年次大会と技術士試験合格者祝賀会を同時に開催しました。合格者は 10 名参加されました。(支部広報誌では、その内の会員技術士 8 名を紹介しています)
- 3) 県内地域活動の推進のため、ノート型 PC を地域別に 4 台配置し、地域小委員会の活動が円滑

に行われるようにしました。

2. 2022 年度後半の委員会活動計画

- 1) 事務に係る業務の整備を進めます。
一つは INS 電話回線を光回線に 10 月に切り換えます。また事務の効率化を着実に進め、特に経理事務においては電子化とそれに伴う諸手続きの変更を実施し、支部活動が円滑に行えるよう図ります。
- 2) 技術士の知名度向上のため、支部創立 10 周年記念誌の配布や埼玉県支部紹介のリーフレット、技術士活動紹介のリーフレットの更新を図ります。
- 3) 次年度予算の策定を進めます。次年度は役員改選の時期となりますので、支部の課題を明確にし、対処策を考え、次年度も継続して活動できるようにしたいと思います。

CPD委員会

埼玉県支部CPD委員会委員長 増古 恒夫

本委員会では、16名の委員が1) CPD 行事の企画・実施、2) 技術士倫理の研修、3) 教育機関、若手技術者への技術士制度普及、参加者の満足度向上、技術士資質の向上を目指し、活動しています。今年度前半(4月~9月)は、支部全体行事、各委員会との共催で、講演会を6回、大学生への

技術士制度説明会を2回、コミュニケーション技法習得セミナーを1回実施しました。新型コロナウイルス感染症防止の観点からオンラインでの開催も企画しています。詳細は日本技術士会HP 行事案内や会員メールでお知らせいたしますので奮ってご参加ください。

開催月日	場所	行事(テーマ)
10.1	ウエスタ川越	講演会「地中熱利用、本物のSDGs」
10.16	オンライン	講演会「下水道の資源化」
11.8	深谷市	見学会「彩の国資源循環工場」
11.18	新都心ビジネス交流プラザ	彩の国産業活性化交流会(ハイブリッド講演)
12	さいたま市民会館おおみや	講演会「産学官連携」
1.7	新都心ビジネス交流プラザ	技術士研究・業績発表大会
1.28	新都心ビジネス交流プラザ	「新規開業セミナー」
2	埼玉県内	見学会確定後H/P 掲示
2	さいたま市民会館おおみや	講演会「建設関係確定後H/P 掲示」
3	浦和コミュニティセンター	セミナー「技術士資格取得制度説明会」

科学技術振興委員会

埼玉県支部科学技術振興委員会委員長 中田 よしみ

当委員会は、科学技術の振興に寄与することを念頭に、児童・生徒を含めた若年層が科学への興味・関心を向けるきっかけとなるような理科実験教室を実施するだけでなく、会員向けに科学知識継続学習ができるような講習会等を実施しています。

【2022 年度上期の活動報告】

1) 講演会（オンライン）

2022 年 4 月 25 日

サイエンスコミュニケーションに関する講習会「楽しさから気づき、そして学びへ」を実施しました。

2) 理科実験教室（さいたま市内）

7 月 31 日 「よく飛ぶ紙飛行機」

（右掲の写真参照）

7 月 27 日、8 月 4 日

さいたま市内学童保育所 3 か所

「しゅわしゅわを作ろう」

【2022 年度下期の活動予定】

1) 10 月 理科実験教室（オンデマンド）

2) 実験コンテンツ研鑽など

新生活様式にも対応できるように ON-LINE 実験対応検討し、さらに活動できる機会を増やしていきたいとも思っています。



（主催理科教室「よく飛ぶ紙飛行機」での様子）

地域産業支援委員会

埼玉県支部地域産業支援委員会委員長 近藤 孝

地域産業支援委員会の重要なミッションは、「技術の力で地域の発展に貢献する」ことにあります。2022年度は『10周年以降の活動の方向づけ』をスローガンに、活動を続けて参ります。新型コロナによる制約を乗り越え、活動を活発化させます。

1. 社会貢献活動

① 防災支援グループは、DIG リハーサルを実施し、ファシリテーターを更に4名養成して立正大学での学生への演習を10月に行う予定です。

② 埼玉県県土整備部の建設工事紛争審査会の委員として、引き続き技術士1名が就任し、協力しています。

2. 地域産業支援活動

① 理化学研究所のVCAD システム研究会への支援を継続し、理研発ベンチャー会社でガラス成形シミュレーションソフトの販売に繋がりました。販売先が必要とするガラス物性測定に技術士2名が協力し、有効なデ

ータを取得する予定です。また、VCAD システム研究会の運営に協力すべく、運営委員会に技術士が2名就任して協力を行っています。

② 理研、VCAD システム研究会、和光市商工会が合同で申請した、「もの補助ビジネスモデル構築型」が採択されました。申請書作成に5名に技術士が休日返上で協力し、技術士の評価が高まりました。

3. 外部への技術士紹介活動

① 展示会は、オンライン彩の国ビジネスアリーナなどに出展し、技術士活動の紹介を行います。

② 外部からの技術士の紹介依頼は、年初から11件受け、3件について依頼元と契約を結びご支援を行いました。

技術問題にお困りの企業様のご要望にお応えできるよう体制整備を進めていますので、是非、技術士をご活用ください。

地域活性化委員会

埼玉県支部地域活性化委員会委員長 若林 直樹

地域活性化委員会は、北部・西部・東部の各小委員会活動を軸として、支部の基本方針「地域社会経済の発展に貢献する」に基づいて、各地域の実状に即し、地域に根付いた活動を展開しています。しかし、約2年半以上にも及び新型コロナウイルス感染症拡大により、地域に密着した活動は多大な制約を受けています。とくに、地域経済との密接な関わり構築には、各地域の商工会議所等との連携が必要ですが、十分な活動が行えず、商工連携は、成果をあげるには至りませんでした。

今後は、ウィズコロナ・アフターコロナ時代を見据え、商工連携はもちろんのこと、各地域の自治体、諸団体、企業とのコミュニケーションを高め、地域社会への貢献を図っていきます。

活動の課題としては、やはり技術士の知名度向上があげられます。技術士のことを知っている方が少ないのが現状であり、これが各地域活動の支障となっていると考えられています。それに対しては広報活動の活性化を図りますが、本年は支部創立10周年記念誌が発刊され、これは技術士活動を理解していただくには最適と考え、これを用いて、PR活動を精力的に行っていきます。

また、我々技術士は、技術士法により資質向上を図ることが定められていることから、継続研さんに取り組み、各地域でCPD講演会・見学会を開催しています。本年度4～10月の実績を表に示しますが、今後も社会課題解決を意識したCPD講演会・見学会を企画し、実施していきます。

2022年度(4月～10月)各地域小委員会主催CPD行事一覧表						
地域小委員会	開催行事	実施日	行事名・テーマ	参加者	開催場所	講演者
北部	CPD講演・見学会	2022/6/25	CPD講演・見学会 (埼玉県薬科学国際センター)	29	加須市	埼玉県薬科学センター 専攻研究員
西部	講演会	2022/10/1 (予定)	コロナ後のSDGsとカーボンニュートラル	未定	川越市	NPO法人地中熱利用促進協会代表理事 國學院大学客員教授
東部	講演会	2022/10/16 (予定)	下水道の資源化	未定	Web	元東京都下水道局施設管理課長

会長表彰受賞者の紹介

埼玉県支部幹事 穴戸 富雄 (機械)

1. 会長表彰受賞のお礼：

令和4年6月15日公益社団法人日本技術士会本部から会長賞の表彰を頂きました。今回の受賞は、2010年に日本技術士会(埼玉県支部)に入会して以来、多くの技術士のご指導を頂いた結果であり皆様方に深く感謝申し上げます。

支部内ではものづくり企業様のご支援と地区技術士のレベルアップ活動を行ってきました。

以下 弊方の活動をご報告致します。

2. 委員会での主な仕事：2011年～現在

主な役割りは中小企業様のご支援である。

2-1 業務委員会～産業支援委員会(7年間)

- ・課題相談会：(4回/年 地区) 信用金庫共催企業の課題(悩み)アドバイス(＋現場見学)
- ・展示会出展：スーパーアリーナ(2回/年)企業、技術士会出展(企業との対面交流会)
- ・ものづくり補助金審査：(4～5回/年)

成果：企業を含め、関係機関の方々との交流が多く技術士(会)の知名度も向上した。

2-2 地域活性化委員会(4年間)

さいたま市を中心とした支部活動に参画でき

ない技術士(地区委員)の活動の場を作る。

[活動地域]

1 北部(熊谷) 2 西部(川越) 3 東部(越谷)

[活動内容]

- ・地域講演会(見学会)の実施
- ・地域商工会議所等との交流

地区委員の質の高い活動を行ってきた。

成果：県内各地域のレベルアップが図れた。

技術士会と地区機関とのパイプができた。

3. 課題：

コロナ禍の活動では更なる活性化が必要。活動のポイント。

- (1) 企業の方々と積極的に付き合う
- (2) 大学等の研究会に積極的に参加する。
- (3) 外部組織との新たな関係作り

以上

皆様方のご活躍をお祈りします。



穴戸 富雄氏

🌀 会長表彰受賞者の紹介

埼玉県支部幹事 菅原 宏（応用理学 総合技術監理）

この度、会長表彰規則第2条第2号の規定に基づき、会長表彰を賜り、関係各位に感謝申し上げます。表彰の推薦理由が「長年にわたり、複数の委員会委員を兼務し、更に支部の会計収支を日常的に管理し、支部の収支状況の向上に大きく寄与し、本会の発展に貢献した。」とのことでした。

埼玉県支部は、2011年11月に設立され、2022年5月28日には創立10周年記念式典が無事に開催されました。この間、県支部幹事として、表方では技術士の責務として必要なCPD行事の企画・実施を、裏方では県支部の財政基盤となる収支管理を担当してきました。

CPD行事は、技術士に継続研鑽の機会を提供するという県支部の運営においても最重要事項で、テーマの発案・企画・下準備・実施・とりまとめと多大な労力を要します。見学会の場合には、移動を伴うことからスケジュール管理や安全管理が加わってさらに煩雑となります。これら着手から完了までに要する経費支出の管理・精算を適切に行うことはCPD行事の内容と共に、CPD行事の成否にかか

ります。

県支部はCPD行事だけでなく、展示会への出展・技術士制度の普及・他機関との連携などの対外活動も行っています。これらCPD行事や対外活動をバランスよく運営するためには、県支部の財政基盤を安定させる必要がありました。設立当初は行事運営に係る経費支出もままならず、幹事や委員の手弁当的貢献、それらを陰で支えた事務職員の尽力等で、この10年間に少しずつ積みあがって収支向上を成し得たものと考えております。

最近では、埼玉県支部の活動が他地域本部や県支部に参照され始めており、皆様からのご教示を受けながら、さらなる発展となるよう寄与する所存です。ありがとうございました。



菅原 宏氏

🌀 会長表彰受賞者の紹介

埼玉県支部幹事 村山 肇（金属）

「日本技術士会会長表彰へのお礼」

この度は栄えある日本技術士会会長表彰をいただき、とても栄誉のあることと非常にうれしく思っています。

振り返ってみると、技術士金属部門に登録されたのが2010年4月2日、70歳になる寸前でした。この年齢で埼玉県に住む技術士としてやれることは「地域貢献しかない」と強く心に決め、ちょうどその夏「日本技術士会埼玉県支部」を立ち上げるという計画が出され、さっそく準備委員会に手を上げ参加。そして埼玉県支部設立と同時に「支部幹事」として立候補、支部活動を行う機会を得ました。それからあつという間に10年が経過、その間現役時代ではほとんど経験することのなかった、建設・農業・情報工学・化学等、金属部門以外の多くの技術分野の方々や自治体、地域の方々との交流を深め、研鑽を積み重ねることができました。また総務企画委員長を二期も務め

させていただくなど、充実した人生の後半を送ることができました。

このように、いただいた栄誉は単に私個人の力ではなく、当初技術士として未熟な私を指導・育てていただいた埼玉県支部の諸先輩をはじめ、皆様のおかげであると実感しております。

最後になりましたが、今後とも微力ながら「情熱が続く限り」埼玉県支部の発展に力を注ぐつもりです。気が付けばもう81歳「老兵はただ消えるのみ」という言葉が頭をよぎる今日この頃です。ありがとうございました。



村山 肇氏

以上

(2022.8.31記)

2022年度埼玉県支部年次大会・技術士試験合格者祝賀会報告 埼玉県支部CPD委員会 白岩 信裕

2022年7月23日(土)、2022年度埼玉県支部年次大会と前年度技術士試験合格者の祝賀会を2部構成で、新都心ビジネス交流プラザにて参加者37名で開催しました。第1部の年次大会では、若林支部長から今年度活動方針が示され、5月に終えた埼玉県支部創立10周年記念事業の総括報告がなされました。続いて委員会別に所掌委員長と会計担当が、今年度活動結果と今後の計画を報告しました。その後、第2部の技術士試験合格者祝賀会を記念講演と合格者の紹介にて実施しました。

講演は技術士のCPDに欠かせない技術者倫理を取り上げ、演題を「企業倫理と技術者倫理～事例を基に考える～」として埼玉県支部CPD委員会委員長 増古恒夫が豊富な事例を基に講演しました。企業の社会的責任と収益構造を倫理的に両立させるためには工夫を要することや、技術士の自己研鑽、企業経営者の従業員への倫理的行動の推奨は重要であると話されました。最後に、参加した技術士試験合格者10名による自己紹介が行われ、先輩技術士との懇親を深めました。

技術士試験合格者(会員)の紹介(その1)

コニカミノルタ株式会社 伊藤 博英(イトウ ヒロヒデ) (化学)

入社以来銀塩/非銀塩感光材料、機能性フィルムの処方設計・生産技術開発・新製品開発、ファインケミカル素材の製造会社への出向等、ファインケミカル製品の素材から製品化に関わる業務に携わってきました。昨今、地球環境や社会環境の変化の中で、持続可能な社会の実現のために、化学

産業の進化を牽引する製品開発・モノづくりの現場の人達に、技術士として貢献できるよう研鑽を積んでいきたいと思えます。埼玉県支部の皆様のご指導よろしくお願ひいたします。



伊藤 博英氏

埼玉県産業技術総合センター 小熊 広之(オグマ ヒロユキ) (金属)

私は埼玉県の鉱工業系公設試験研究機関に所属し、材料試験、技術相談、研究等の業務を長年行ってきました。これらの業務を通じて得られた知見が技術士として認めいただけるレベルに達しているか確認したいと思い、技術士試験を受験しました。近年、マルチマテリアル化が進み、当

センターに持ち込まれる材料や相談内容が多様化しています。日本技術士会埼玉県支部との連携により課題解決力を高め、引き続き県内企業の発展のため尽力していく所存です。



小熊 広之氏

新東工業株式会社 金内 良夫(カネウチ タカオ) (機械 金属 総合技術監理)

今年度、機械部門(材料強度・信頼性)に合格致しました。アルミニウム合金を中心に、輸送機器の軽量化を目的とした部品の開発業務に伴う、材料およびプロセスの研究開発に多く従事しました。部品の開発では、材料力学的な知識と、それに基づく評価により課題解決した事例も多く、こ

の知見や経験を既取得部門と共に技術士活動に役立てたいと考え、取得をめざしました。支部活動への参加も含め、今後とも宜しくお願ひいたします。



金内 良夫氏

エクシオグループ株式会社 酒井 倫恵(サカイ トモエ) (電気電子)

私は通信インフラの設計、施工業務を担当しています。発注者様やお客様、現場施工者等、多くの方々と業務調整を行います。その際、性別や経験年数から信頼を得づらいつらがありました。そのため信頼獲得だけでなく、施工(安全面や経済性)でも期待以上の結果を残したいと思い、技術士取

得を目指しました。

今後は公衆が快適な通信を行えるよう、業務に邁進いたします。また同時に後継者、および女性への技術指導、受験支援も行いたい所存です。



酒井 倫恵氏

技術士試験合格者（会員）の紹介（その2）

佐久間技術士事務所 佐久間 幹（サクマ ミキ）（建設）

前職において、建設部門の「土質及び基礎」の技術士が不在であったため、それをカイゼンするために受験しました。さいたま市北区在住で、以前から地域の防災・減災活動を行っております。

今後も、防災士資格を持った技術士として、平

時・発災時の活動を通じて安全・安心に貢献する活動を継続して行いたく思います。よろしく、お願いいたします。



佐久間 幹氏

株式会社アーク 長谷川 肇（ハセガワ ハジメ）（経営工学）

株式会社 ARK、長谷川肇（ハセガワハジメ）です。経営工学部門に合格し、埼玉県支部に入会させていただきました。会社は本社が朝霞市で試作品の製造を行っています。社内では「技術士」資格を知る人はほほえないので、まずは受験者を輩出できるよう、認知活動をおこなっていかこうと思っています

す。また最近、地域貢献活動団体に入ったので、先輩諸氏の力をお借りしたい場面もあろうかと思えます。

どうぞよろしくお願い致します。



長谷川 肇氏

インフラ機器メーカ 福田 翔（フクダ ショウ）（機械）

私が技術士を受験したのは、先輩技術士である会社の上司を目標にしたことがきっかけです。的確な問題解決能力や調整力、更に社内外からの厚い信頼で業務を推進する上司の姿を見て、自分も技術士を目指したいと思いました。私は鉄道インフラ機器の設計に携わっておりますが、技術士として専門技術

を磨き、多くの人の信頼を得て、より良い製品を現場に届けることで社会の発展に貢献したいと考えております。また、私自身が後進技術者の目標となれるように活躍していきたいです。



福田 翔氏

日本電気株式会社 藤田 博史（フジタ ヒロシ）（航空・宇宙）

私はシステム技術者として30 数年間航空保安システム開発・保守事業に携わってきました。特に太平洋上の航空管制への衛星データリンク技術導入に携わり、太平洋上の安全性と運航効率の向上に貢献してきたことを誇りに感じています。今後も更に航空交通の発展に寄与していくために、「技術士航空宇宙部門」が最も有用な資格と考えて受験しま

した。現在は航空交通の国際動向、IT 技術動向、セキュリティ動向等を捉えつつ、これからの航空保安システム開発を担う若手システム技術者の育成に携わっています。

宜しくお願い致します。



藤田 博史氏

埼玉県支部協賛団体の紹介

（団体名は加盟順）

1. ベルセッジ・インコーポレイテッド
（日本代表：菅原宏様）
2. NPO 法人 彩の国技術士センター
（代表理事：山木幸夫様）
3. 有限会社 中村金属工業
（代表取締役：三木虎連様）
4. 共和コンサルタント 株式会社
（代表取締役：小山一裕様）
5. 一般社団法人 技術士さいたま
（理事長：中村憲雄様）
6. 株式会社 テクノクオリティー
（代表取締役：渡部利範様）
7. 株式会社 日さく
（代表取締役社長：若林直樹様）

編集後記

本号は、支部創立 10 周年記念事業報告、会長表彰者の紹介及び技術士試験合格者の紹介に特化し報告いたします。従って県内各地で実施の支部活動（行事）の紹介は、省かせていただきました。活躍中の会員の紹介ができませんにはありますが、長年、支部活動を進め、多大な貢献をされた 3 名の方の、日本技術士会会長表彰受領を報じれることを誇りに思います。地方組織功労者は支部創立から 10 年経過後に初めて表彰され、支部創立 10 周年記念事業にも符合いたします。

支部は、フレッシュな技術士試験合格者の活躍も期待し、更なる 10 年に向かって、前進あるのみと思う次第です。

おくづけ 公益社団法人日本技術士会 埼玉県支部
こうほう・彩の技術士 第20号
発行年月日 2022年10月1日発行
発行者 埼玉県支部（支部長：若林直樹）
E-mail saitama@engineer.or.jp
編集 埼玉県支部総務企画委員会